

『よりによって』 作詞作曲 中西祐介

毛布みたいに心地よくて いつまでもこうしていたい
小刻みな罪悪感さえ優しい

ほどけた靴の安定感がそのまま歩かせる
疲れてない淀みはゆるやかな流動体

何気なさは何気なしにとりとめもなく厳かに
げんかく げんわく とうちやく おごそ
厳格、幻惑、到着

よりによって 寄り添って 酔いしれて 酔いに任せて
恋にならない恋だから せめて形だけでも
めぐ めくば めくば めぐ め
巡り会って 芽生えて 目配せて 恵みを愛でて
言葉や声にする前に 能動的に駆け抜けてた

有り触れた 有り触れてるに 愛の唄ばかりで痛い
せりふ
意味のない台詞に 耐えられない

フェミニンポエム気取ったつもりの蛍光ピンクに
両目やられた レンズ越しに 心

よりによって 寄り添って 酔いしれて 酔いに任せて
恋にならない恋だから せめて形だけでも
めぐ めくば めくば めぐ め
巡り会って 芽生えて 目配せて 恵みを愛でて
言葉や声にする前に 能動的に駆け抜けてた

例えば君に出会えなかったとしても
君にかわるそれなりの人に 会えたよ

よりによって 寄り添って 酔いしれて 酔いに任せて
恋にならない恋だから せめて形だけでも
めぐ めくば めくば めぐ め
巡り会って 芽生えて 目配せて 恵みを愛でて
言葉や声にする前に 能動的に駆け抜けてた